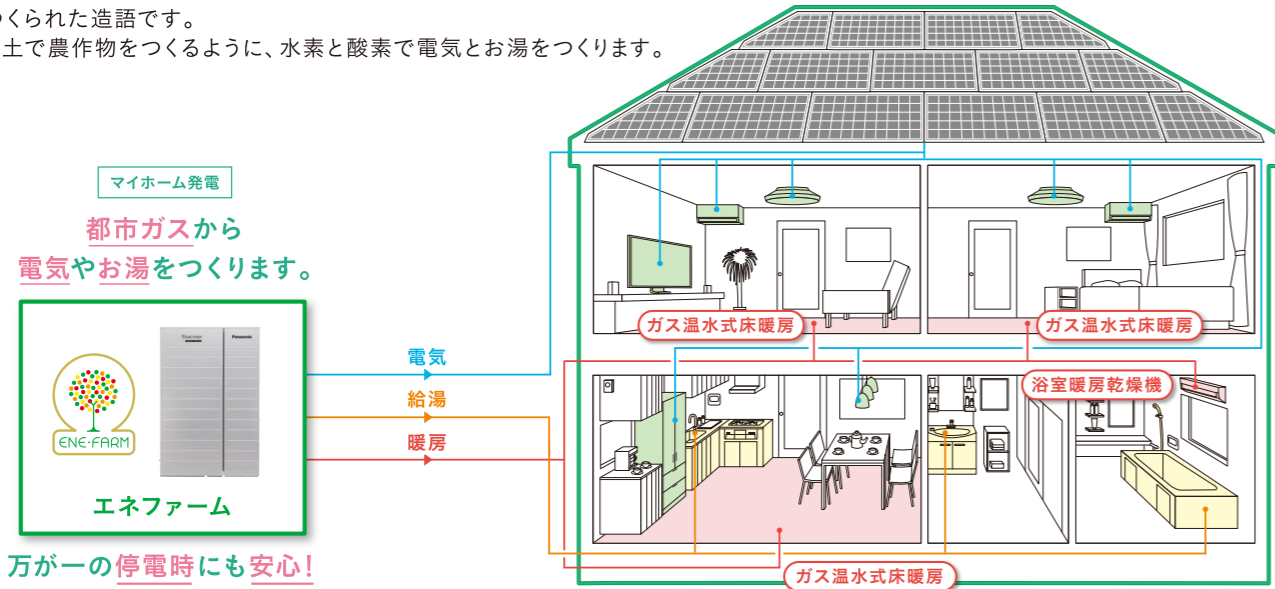


発電湯～わくぷらん

エネファームで、エネルギーをつかう家から、つくる家へ。

電気をつくるとお湯もいっしょにできる

エネファームは、「エネルギー」をつくる「ファーム＝農場」という意味でつくられた造語です。水と土で農作物をつくるように、水素と酸素で電気とお湯をつくります。



1. 防災性

停電時も「発電できる」安心感

レジリエンスモデル(停電発電機能付き)なら停電した場合でも発電します。もしもの時にも照明や通信機器が使える電力を確保します。また給湯や温水機器も使用可能です。

※停電時の発電には、都市ガスと水道が供給状態にあることが必要です

- 最大500Wまでの電力が使えます(停電時専用コンセントから使えます)
- 最長8日間(192時間)使えます

使える機器の目安 照明・情報機器

スタンド照明 スマートフォン・携帯電話充電 液晶テレビ ノートパソコン

お湯
ガス温水床暖房 おふろ シャワー

合計で500Wまで
約130L
トイレなら約32回分

※パナソニック製の場合

断水時は貯湯タンクのお湯(水)が雑用水に使えます

2. 経済性

効率的に発電して、しっかり節電

エネファームで発電した電気をご家庭で使用することで、電力会社からの購入電力を削減します。また、お得なガス料金「発電湯～わくぷらん」で全体の光熱費も大幅に削減できます。

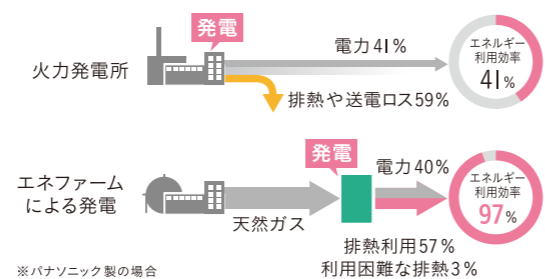
※削減効果は、ご家庭の電気・お湯のご使用状況によって異なります



3. 環境性

発電で生まれた熱を有効利用

発電所から出る大量の熱を速く離れたご家庭に運ぶことはできません。それらは仕方なく海や大気に捨てられています。エネファームなら、その熱も利用するのでご家庭の省エネにも貢献できます。



適用条件

家庭用燃料電池エネファームをご使用の方がご契約いただけます

- [1] 住宅または1需要場所におけるガスメーターの能力が16立方メートル毎時以下で、主に住居部分でガスをお使いになる店舗などの併用住宅における需要であること
- [2] 定格発電出力(機器容量)が5kW以下の家庭用コージェネレーションシステムを使用すること

●おトクな料金が適用されます

単位:円(税込)

基本料金(円/月)	基準単位数料金(円/m ³)
3,190.00円	93.83円

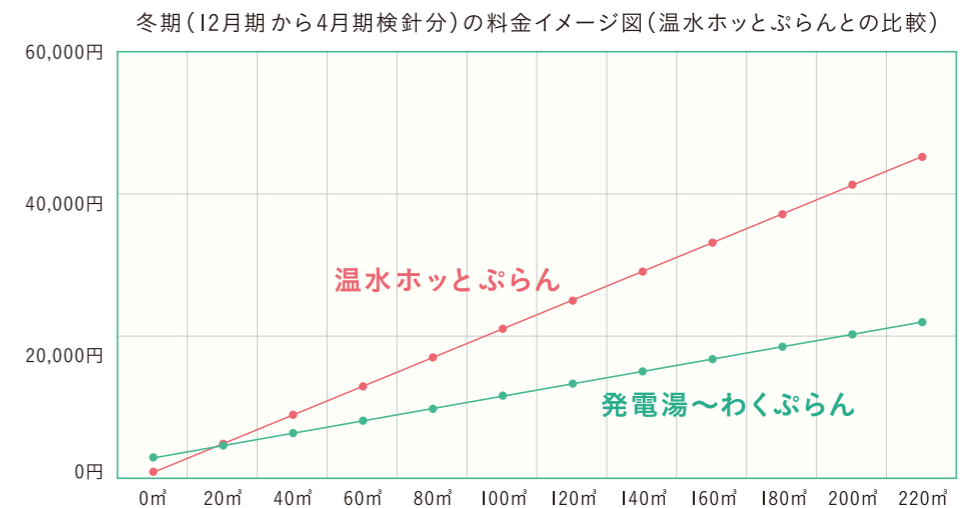
●ガス料金の計算方法

$$\text{毎月のガス料金} = \text{基本料金} + \text{従量料金}$$

$$\text{従量料金} = \text{単位数料金} \times \text{ガスご使用量}$$

※実際に適用する単位数料金(円/m³)は、基準単位数料金に平均原油価格の動向を加味して毎月決定されます

●月あたりのガス料金(イメージ図)



エネファーム(契約種別:発電湯～わくぷらん)なら従来型給湯暖房機(契約種別:温水ホッとぷらん)に比べ

年間約100,000円(税込)お得な料金メニュー

①エネファーム採用時ガス年間使用量:1,052m³ ②従来型給湯暖房機採用時ガス年間使用量:789m³
※お得額は電気料金とガス料金を合算した場合の金額です